

田中防衛局長を更迭

不適切発言で処分

一川防衛相「心からおわび」

政府は29日夜、前日に米軍普天間飛行場移設先の環境影響評価書の提出時期を政府が明言していないことをめぐり、「これから犯す前に、犯しますよと言いますか」などと、女性への乱暴に例える発言をした田中聡沖縄防衛局長(50)の更迭を発表した。政府は、人権感覚を欠いた田中局長の発言が沖縄県と県民の反発を招き、普天間移設問題の障害になりかねないことから即日の更迭を判断した。基地が集中する沖縄の出先機関の沖縄防衛局長(旧那覇防衛施設局長)が不適切発言で更迭されるのは初めて。

普天間移設に影響必至

東京から帰任した仲井真弘多知事は29日、那覇空港で記者団の質問に答え「コメントする気も起さない。口が汚れる」と嫌悪感を示した。

田中局長は更迭されるが、県内では、県民を侮蔑する内容の発言への反発が強まっており、政府が目指す年内の評価書提出時期と今後の移設問題の行方にも影響が出そつだ。

一川保夫防衛相は29日の参院外交防衛委員会ですら「沖縄の皆さんには大変な思いをさせ、心からおわびしたい」と陳謝。藤村修官房長官は同日の記者会見で「事実なら看過できない」と処分をする考えであることを示していた。

田中局長は1961年生まれ。84年旧防衛施設庁入り。那覇防衛施設局施設企画課長、大臣官房広報課長、地方協力局企画課長などを経て、今年8月15日に沖縄防衛局長に就いていた。



着任会見をする田中聡沖縄防衛局長(8月26日、沖縄防衛局)